

一次持出品は、地震が発生して避難するとき、まず最初に持ち出すべきものです。

一次持出品

例

■非常食

カンパン、缶詰など火を通さなくても食べられるもの。ミネラルウォーター、缶切り、栓抜き、紙皿、紙コップ、水筒など。



■貴重品

現金(10円硬貨があると公衆電話の利用に便利)、預金通帳、印鑑、免許証、権利証書など。



■救急医薬品

絆創膏、傷薬、包帯、風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤など。



■その他

下着・上着などの衣類、タオル、生理用品、粉ミルク、紙おむつ、ウェットティッシュ、合羽、ヘルメット、ライター、ラップフィルム(止血や汚れた食器にかぶせて使う)など。



■携帯ラジオ

備電池は多めに用意。



■懐中電灯

できれば1人に1つ。予備電池も忘れずに。



非常持出品は定期的に点検を!

いざというときに支障のないように、食品類の賞味期限や持出品の不備を定期的に点検しましょう。

二次持出品

例

二次持出品は、災害復旧までの数日間(最低3日分)を生活できるように準備しておくものです。

■飲料水

飲料水は1人に1日3リットルを目安に。ペットボトルや缶入りのミネラルウォーター。また、防災タンクにためておく。



■食品

米(缶詰やレトルト、アルファ米も便利)、缶詰やレトルトのおかず、ドライフーズ、チョコレート、アメなどの菓子類、梅干し、調味料など。



■燃料

卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料。

■その他

生活用水(風呂や洗濯機に備蓄。幼児に注意して)、毛布・寝袋、洗面用具、ドライシャンプー、なべ、やかん、防災タンク、(ポリタンク)、バケツ、各種アウトドア用品など。



●地震の強さ(震度表) ●気象庁震度階級

震度 0	人は揺れを感じない 	震度 5弱	家具の移動や、食器や本が落ちたり、窓ガラスが割れることもある。 
震度 1	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。 	震度 5強	タンスなど重い家具や外では自動販売機が倒れることがある。自動車の運転は困難。 
震度 2	屋内にいる人の多くが揺れを感じる。つり下がっている電灯などがわずかに揺れる。 	震度 6弱	立っていることが難しい。壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる。 
震度 3	屋内にいるほとんどの人が揺れを感じ、棚の食器が音をたてることがある。 	震度 6強	立ってられず、はわないと動くことができない。重い家具のほとんどが倒れ、戸がはずれて飛ぶ。 
震度 4	眠っている人のほとんどが目覚ます。部屋の不安定な置物が倒れる。歩行中の人揺れを感じる。 	震度 7	自分の意志で行動できない。大きな地割れや地すべり、山崩れが発生する。 